

教科名	科目名	講座名	単位数	講座番号
国語	論理国語	論理国語	3	601031
履修区分	履修年次	コース・履修条件		
選択	6	Liberal Arts・STEM・4年次に「現代の国語」及び「言語文化」の履修が必要		
準備するもの（使用する教科書・副教材等）				
論理国語（筑摩書房）				
目標	<p>実社会に必要な国語の知識や技能、論理的・批判的に考える力や創造的に考える力として、示された情報の信頼性や妥当性を見極めながら、他者の主張や考えを的確に理解するとともに、自らの主張や考えについても、相手に受け入れられるよう、論拠に基づいて効果的に構築する資質・能力を育成する。また、言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>			
学習内容	<p>論理的な文章や実用的な文章、社会的な話題の論説文や資料、学術的な論文など、さまざまな種類の文章を読んで、批評、討論、論述、発表といった活動を通して、内容や構成、論理の展開を的確にとらえること、批判的に検討して内容を解釈すること、多面的・多角的な視点から評価すること、書き手の立場、目的を考えて解釈を深めること、また、様々な観点から情報を収集、整理して適切な題材を決めること、自分の主張を支える適切な根拠をそろえること、相手を説得するための文章構成や論理の展開を工夫すること等を学習する。</p>			
評価	レポート・ペーパーテスト			
履修上の注意				

教科名	科目名	講座名	単位数	講座番号
国語	文学国語	文学国語（2）	2	601041
履修区分	履修年次	コース・履修条件		
選択	6	Liberal Arts・4年次に「現代の国語」及び「言語文化」の履修が必要 本科目の履修のためには、5年次の「文学国語（1）」の履修が必要		
準備するもの（使用する教科書・副教材等）				
文学国語（数研出版）				
目標	<p>社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、言語文化に対する理解を深めることができるようにする。深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、読書に親しみ自己を向上させ、言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>			
学習内容	<p>小説や詩歌などを創作し批評し合う活動や、作品の内容や形式について書評を書いたり自分の解釈や見解を基に議論したりする活動、作品に関連のある事柄について様々な資料を調べ、その成果をまとめる活動などを通して、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉える方法や、題材に応じて情報を収集、整理して表現したいことを明確にしながらか文学的な文章を書く方法など、生涯にわたる社会生活において必要な国語の事項を学習する。</p>			
評価	レポート・ペーパーテスト			
履修上の注意				

教科名	科目名	講座名	単位数	講座番号
国語	国語表現	国語表現（2）	2	601051
履修区分	履修年次	コース・履修条件		
選択	6	Liberal Arts・4年次に「現代の国語」及び「言語文化」の履修が必要 本科目の履修のためには、5年次の「国語表現（1）」の履修が必要		
準備するもの（使用する教科書・副教材等）				
『国語表現』（東京書籍）				
目標	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けることができるようにするとともに、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、実社会における他者との多様な関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。さらに、言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。			
学習内容	以下の活動例を通して、話したり書いたりする際の話題設定や構成の検討の仕方、意見の述べ方や情報の取り扱い方、話し合う際の意見の述べ方や共有・評価の仕方等、実社会における国語による諸活動に必要な事項を学習する。 ・スピーチ・説明・紹介・依頼・インタビュー・ディベートなどの自分の考えや必要事項を伝えたり批評して高め合ったりする活動 ・意見文・企画書・報告書・手紙・メール・提案書などの自分の考えや必要事項を伝えたり批評して高め合ったりする活動			
評価	パフォーマンステスト（スピーチ・プレゼンテーション・論述等）			
履修上の注意				

教科名	科目名	講座名	単位数	講座番号
国語	Language A	Language A SL（2）	3	601081
履修区分	履修年次	コース・履修条件		
選択	6	Global・5年次に「Language A SL（1）」の履修が必要		
準備するもの（使用する教科書・副教材等）				
『非色』有吉佐和子（河出文庫） 『わたしを離さないで』カズオ・イシグロ（早川書房） 『茨木のりこ詩集』谷川俊太郎（岩波書店） 『曽根崎心中 冥途の飛脚 心中天の網島』近松門左衛門（角川ソフィア文庫） 『セールスマンの死』アーサー・ミラー（ハヤカワ演劇文庫） 『批評理論入門『フランケンシュタイン』解剖講義』廣野由美子（中央公論新社） ※すべて5年次にすでに購入済み				
目標	文学及び非文学テキストの探究を通して、社会的、芸術的、文化リテラシーを深めるとともに、言語運用能力、流暢さ、言語使用範囲の広さ、テキスト分析に適切な語彙力を備えた、受容スキル、産出スキルおよびやり取りのスキルを習得する。また、言語と文学の領域で扱われる様々な概念に対する理解を深め、理解したことを解釈、分析、及び評価し、それを明確に順序だて、まとめた形で表現する力を養う。			
学習内容	4冊以上の文学テキストと可能な限り多くの非文学テキストを「読者、作者、テキスト」の関係性、「時間と空間」を超えたテキストの機能、「テキスト間相互関連性」の3つの観点に焦点をあてて探究することを通して、さまざまな文学形式とテキストタイプがどのようなコミュニケーション上の役割を担っているかを研究し、言語そのものの特性、また言語がアイデンティティや文化にどのように影響されるかについて考えを深め、それらを明確に伝える力を養う。			
評価	パフォーマンステスト（論述、プレゼンテーション等）、ペーパーテスト			
履修上の注意				

教科名	科目名	講座名	単位数	講座番号
国語	Language A	Language A HL (2)	5	601082
履修区分	履修年次	コース・履修条件		
選択	6	Global・5年次に「Language A HL (1)」の履修が必要		
準備するもの（使用する教科書・副教材等）				
『非色』有吉佐和子（河出文庫） 『わたしを離さないで』カズオ・イシグロ（早川書房） 『茨木のりこ詩集』谷川俊太郎（岩波書店） 『曽根崎心中 冥途の飛脚 心中天の網島』近松門左衛門（角川ソフィア文庫） 『ころも』夏目漱石（角川書店）『セールスマンの死』アーサー・ミラー（ハヤカワ演劇文庫） 『セールスマンの死』アーサー・ミラー（ハヤカワ演劇文庫） 『批評理論入門『フランケンシュタイン』解剖講義』廣野由美子（中央公論新社） ※すべて5年次に購入済み				
目標	文学及び非文学テキストの探究を通して、社会的、芸術的、文化リテラシーを深めるとともに、言語運用能力、流暢さ、言語使用範囲の広さ、テキスト分析に適切な語彙力を備えた、受容スキル、産出スキルおよびやり取りのスキルを習得する。また、言語と文学の領域で扱われる様々な概念に対する理解を深め、理解したことを解釈、分析、及び評価し、それを明確に順序だて、まとめた形で表現する力を養う。			
学習内容	6冊以上の文学テキストと可能な限り多くの非文学テキストを「読者、作者、テキスト」の関係性、「時間と空間」を超えたテキストの機能、「テキスト間相互関連性」の3つの観点に焦点をあてて探究することを通して、さまざまな文学形式とテキストタイプがどのようなコミュニケーション上の役割を担っているかを研究し、言語そのものの特性、また言語がアイデンティティや文化にどのように影響されるかについて考えを深め、それらを明確に伝える力を養う。			
評価	パフォーマンステスト（論述、プレゼンテーション等）			
履修上の注意				

教科名	科目名	講座名	単位数	講座番号
国語	Language A	Language SSST (2)	3	601091
履修区分	履修年次	コース・履修条件		
選択	6	Global・5年次に「Language SSST (1)」の履修が必要		
準備するもの（使用する教科書・副教材等）				
文学テキスト				
目標	文学テキストの探究を通して、社会的、芸術的、文化リテラシーを深めるとともに、言語運用能力、流暢さ、言語使用範囲の広さ、テキスト分析に適切な語彙力を備えた、受容スキル、産出スキルおよびやり取りのスキルを習得する。また、言語と文学の領域で扱われる様々な概念に対する理解を深め、理解したことを解釈、分析、及び評価し、それを明確に順序だて、まとめた形で表現する力を養う。			
学習内容	「読者、作者、テキスト」の関係性、「時間と空間」を超えたテキストの機能、「テキスト間相互関連性」の3つの観点や概念に焦点をあてて9冊の文学テキストを探究する。個々の作品の美的使用や文学と文化、社会との関係について批判的に考察するとともに、作品同士の類似点や相違点についても検討する。また、練習を通して、これらの考察を口述、論述で論理的に表現する力を身につける。			
評価	パフォーマンステスト（プレゼンテーション）、ペーパーテスト			
履修上の注意	SSST：「School Supported Self-Taught（学校が支援する、自習的に行う講座）日本語を母語としない生徒のみ選択でき、使用言語は日本語以外の言語とする。2年間履修する。選択にあたっては、事前にDPコーディネーターに相談し、許可を得る必要がある。			

教科名	科目名	講座名	単位数	講座番号
国語	国語探究	国語探究	2	601073
履修区分	履修年次	コース・履修条件		
選択	6	Liberal Arts		
準備するもの（使用する教科書・副教材等）				
古典探究 古文編・漢文編（第一学習社）国語便覧(第一学習社／4年次購入済)				
目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。また、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通じた先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりする言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。			
学習内容	幅広い古典作品を読み、興味や疑問をもとに関連する事柄について調べ、報告書や論文の作成、発表や議論を行う活動、古典の語彙や表現技法を参考にして和歌や俳諧、漢詩の創作、朗読を行う活動、往来物や漢文の名句・名言を読み、社会生活に役立つ文例を集め、現代における意義や価値について随筆などにまとめる活動などを通して、古典に親しみ、生涯にわたる社会生活に必要な国語の事項を学習する。			
評価	パフォーマンステスト（スピーチ・プレゼンテーション・論述・口頭試問等）・ペーパーテスト			
履修上の注意				

教科名	科目名	講座名	単位数	講座番号
地理歴史	日本史探究	日本史探究（２）	4	602041
履修区分	履修年次	コース・履修条件		
選択	6	Liberal Arts・4年次に「歴史総合」の履修が必要 本科目の履修のためには、5年次の「日本史探究（１）」の履修が必要		
準備するもの（使用する教科書・副教材等）				
「日本史探究」（東京書籍）「新詳日本史」（浜島書店）				
目標	必履修科目である「歴史総合」の学習によって身に付けた資質・能力を基に、日本の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを考察し、よりよい社会の実現を視野に、歴史的経緯を踏まえて、現代の日本の課題を探究する。			
学習内容	日本の前近代の歴史を内容とする大項目「原始・古代の日本と東アジア」「中世の日本と世界」「近世の日本と世界」において、多様な資料を効果的に活用して、歴史を考察し表現し、「歴史総合」「日本史探究Ⅰ」で育んだ歴史の学び方を活用しつつ、日本の歴史の展開や伝統と文化への理解を深める。日本の近現代の歴史を内容とする「近現代の地域・日本と世界」においては、「歴史総合」「日本史探究Ⅰ」で獲得した概念や5年次での学習とのつながり、成長させた歴史を考察する力を活用し、歴史に関わる諸事象相互の関係性や、地域と日本、世界との関係性などを整理して構造的に理解し、さらに「現代の日本の諸課題」について多面的・多角的に考察、構想する。本講座では、特に特に日本の原始・古代から近現代にいたる歴史を「対外関係」・「政治」・「社会経済」の視点から重点的に学習する。			
評価	小論文など			
履修上の注意				

教科名	科目名	講座名	単位数	講座番号
地理歴史	世界史探究	世界史探究（２）	4	602051
履修区分	履修年次	コース・履修条件		
選択	6	Liberal Arts・4年次に「歴史総合」の履修が必要		
準備するもの（使用する教科書・副教材等）				
「新詳世界史探究」（帝国書院）・「最新世界史図説 タペストリー」（帝国書院）				
目標	必履修科目である「歴史総合」の学習によって身に付けた資質・能力を基に、世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解するとともに、事象の意味や意義、特色などを考察し、よりよい社会の実現を視野に、歴史的経緯を踏まえて、地球世界の課題を探究する。			
学習内容	「世界史へのまなざし」「諸地域の歴史的特質の形成」「諸地域の交流・再編」「諸地域の結合・変容」「地球世界の課題」の五つの大項目によって構成され、世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色を考察し、地球世界の課題をその解決を視野に、主体的に探究します。本講座では特に大項目「諸地域の結合・変容」「地球世界の課題」を重点的に学習します。			
評価	ペーパーテスト・レポート・小論文など			
履修上の注意				

教科名	科目名	講座名	単位数	講座番号
地理歴史	地理探究	地理探究（２）	4	602021
履修区分	履修年次	コース・履修条件		
選択	6	Liberal Arts・4年次に「地理総合」の履修が必要 本科目の履修のためには、5年次の「地理探究（１）」の履修が必要		
準備するもの（使用する教科書・副教材等）				
「新詳地理探究」（帝国書院）「新詳高等地図」（帝国書院）「新詳地理資料COMPLETE」（帝国書院）				
目標	必履修科目である「地理総合」の学習によって身に付けた資質・能力を基に、広い視野に立って課題を追究したり解決したりする活動を通して、①地誌的に概念などを活用して考え議論する力、②日本及び世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとする姿勢など、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。			
学習内容	「現代世界の地域区分」「現代世界の諸地域」「現代世界におけるこれからの日本の国土像」などの地理的な要素について、主として地誌的に考察するとともに、場所や空間的相互依存作用などに着目して、課題を追究したり解決したりする活動を通して、地理的な知識・技能及び思考力・判断力・表現力を育成する。			
評価	ペーパーテスト・レポートなど			
履修上の注意				

教科名	科目名	講座名	単位数	講座番号
地理歴史	社会探究	社会探究	2	602071
履修区分	履修年次	コース・履修条件		
選択	6	Liberal Arts		
準備するもの（使用する教科書・副教材等）				
各自の探究活動を行う分野に応じた教材				
目標	5年次までに学習した地理・歴史・公民に関わる内容について、より深めたり、科目横断的に考える必要のある課題を自ら設定して探究したりする活動を通して、社会事象を理解し、よりよい社会を形成するための思考力・判断力・表現力を育成することを目指す。			
学習内容	探究の材料となる資料（各種のデータや記事、論文、大学入試問題等）を自分で設定・用意し、その資料の持つ価値や作成者の意図、現実の社会で起きている問題との関わりなどについて、個人またはグループでの探究活動を行い、自分に必要な社会的な思考力・判断力・表現力を高める。担当教員は探究活動について、助言や支援、必要に応じた解説を行う。			
評価	成果物の作成・レポートなど			
履修上の注意				

教科名	科目名	講座名	単位数	講座番号
地理歴史	History SL	History SL (2)	3	602061
履修区分	履修年次	コース・履修条件		
選択	6	Global・5年次に「History SL (1)」の履修が必要		
準備するもの(使用する教科書・副教材等)				
「トップ・ハイレベル世界史」(スタディサプリ)				
目標	政治、経済、社会、文化の諸相の歴史を、史実として学習するだけでなく、歴史的背景を踏まえて物事を考え、歴史学的な研究のスキルを身につける。特に、批判的思考のスキルを養い、歴史に複数の解釈があることを理解する。			
学習内容	「指定学習項目」として、1931年から1941年にかけての日本の拡張政策および1933年から1940年にかけてのドイツとイタリアの拡張政策を取り上げる「世界規模の戦争への動き」を学習する。「世界史トピック」として、20世紀に独裁主義的国家の出現を促進した要因と、政党や指導者が権力を掌握しそれを維持するために用いた方法に焦点をあてる「独裁主義的国家(20世紀)」と、20世紀の戦争の原因、過程、影響に焦点をあてる「20世紀の戦争の原因と影響」を学習する。			
評価	ペーパーテスト・レポート・プレゼンテーションなど			
履修上の注意				

教科名	科目名	講座名	単位数	講座番号
地理歴史	History HL	History HL (2)	5	602062
履修区分	履修年次	コース・履修条件		
選択	6	Global・5年次に「History HL (1)」の履修が必要		
準備するもの(使用する教科書・副教材等)				
「トップ・ハイレベル世界史」(スタディサプリ)				
目標	政治、経済、社会、文化の諸相の歴史を、史実として学習するだけでなく、歴史的背景を踏まえて物事を考え、歴史学的な研究のスキルを身につける。特に、批判的思考のスキルを養い、歴史に複数の解釈があることを理解する。			
学習内容	「指定学習項目」として、1931年から1941年にかけての日本の拡張政策および1933年から1940年にかけてのドイツとイタリアの拡張政策を取り上げる「世界規模の戦争への動き」を学習する。「世界史トピック」として、20世紀に独裁主義的国家の出現を促進した要因と、政党や指導者が権力を掌握しそれを維持するために用いた方法に焦点をあてる「独裁主義的国家(20世紀)」と、20世紀の戦争の原因、過程、影響に焦点をあてる「20世紀の戦争の原因と影響」を学習する。加えて、「アジアとオセアニアの歴史」として19世紀半ばから20世紀半ばにかけての東アジアの歴史的展開を学習する。			
評価	ペーパーテスト・レポート・プレゼンテーションなど			
履修上の注意				

教科名	科目名	講座名	単位数	講座番号
公民	公共	公共	2	603011
履修区分	履修年次	コース・履修条件		
必修	6	Global		
準備するもの（使用する教科書・副教材等）				
「公共」（東京書籍）、最新公共資料集（第一学習社）				
目標	人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して、①考察・選択・判断のための手掛かりとなる概念・理論を理解し、諸資料から必要な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能、②現実社会の諸課題の解決に向け、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れ、議論し構想する力、③よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度など、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。			
学習内容	古今東西の先人の取組、知恵などを踏まえ、社会に参画する際の選択・判断するための手掛かりとなる概念、理論や公共的な空間における基本的原理を理解する「公共の扉」を導入として、「自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち」での、他者と協働しながら現実社会の諸課題に関わる主題を追究したり解決したりする学習活動や、「持続可能な社会づくりの主体となる私たち」での、共に生きる社会を築くという観点から課題を見だし、課題の解決に向けて自分の考えを説明、論述する活動を通して、公民的な知識・技能及び思考力・判断力・表現力を育成する。			
評価	小論文、レポートの作成と発表など			
履修上の注意				

教科名	科目名	講座名	単位数	講座番号
公民	政治・経済	政治・経済	4	603031
履修区分	履修年次	コース・履修条件		
選択	6	Liberal Arts・STEM・5年次に「公共」の履修が必要		
準備するもの（使用する教科書・副教材等）				
「政治・経済」（東京書籍）、「最新政治・経済資料集」（第一学習社）				
目標	必修科目である「公共」の学習によって身に付けた資質・能力を基に、①現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論の理解および情報を効果的に調べまとめる技能、②政治・経済の概念や理論などを活用して、身に付けた判断基準を根拠に構想する力や、実現可能性などを指標に合意形成や社会参画に向かう力、③現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度、を養うとともに国際社会に主体的に生きる社会の有為な形成者、市民（citizen）として必要な資質・能力を育成する。			
学習内容	現代日本とグローバル化する国際社会における政治・経済とその諸課題について追究する学習活動を通して、社会認識を深める。環境問題や差別・偏見などを解決の方向に導き、公正で持続可能な世界を実現させるために、個人と社会（コミュニティ）はどのようなべきか、諸課題の政治・経済的側面に焦点を当てて思索し構想する。			
評価	小論文、単元テスト、レポートの作成と発表など			
履修上の注意				

教科名	科目名	講座名	単位数	講座番号
公民	倫理	倫理	4	603021
履修区分	履修年次	コース・履修条件		
選択	6	Liberal Arts・5年次に「公共」の履修が必要		
準備するもの（使用する教科書・副教材等）				
「倫理」（東京書籍）、「最新倫理資料集 テオリア」（第一学習社）				
目標	<p>必履修科目である「公共」の学習によって身に付けた資質・能力を基に、①現代の諸課題、倫理的課題とともに、人格形成の課題や人間観、自然観、宗教観について、理解や思索を深める中で、他者とともに生きる人間や自己の在り方や生き方を考え、人生観・世界観・価値観を形成する。②先哲の基本的な考え方の理解を手掛かりとし、人間存在や価値に関わる課題について思索する中で、倫理的な見方や考え方を身に付ける。人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念に基づき、平和で民主的な社会の実現に寄与する能力や態度を養う。</p>			
学習内容	<p>人間と哲学・思想・宗教・芸術の関係、近代資本主義社会の問題とその克服、社会変革の思想、近代的な理性への問い直しとしての現代思想の人間観・言語観、公共性に関わる思想等について認識を深める。環境問題や差別・偏見などを解決の方向に導き、公正で持続可能な世界を実現させるために、個人と社会（コミュニティ）はどのようなべきか、諸課題の倫理的側面に焦点を当てて思索し構想する。</p>			
評価	ペーパーテスト・レポート・プレゼンテーションなど			
履修上の注意				

教科名	科目名	講座名	単位数	講座番号
数学	数学Ⅲ	数学Ⅲ	4	604031
履修区分	履修年次	コース・履修条件		
選択	6	Liberal Arts・STEM・5年次に「数学Ⅱ」の履修が必要		
準備するもの（使用する教科書・副教材等）				
NEXT数学Ⅲ(数研出版)				
目標	代数・幾何・解析・統計に関わる学習において、数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を育成することを目指す。			
学習内容	代数・幾何・解析・統計に関わる分野について総合的に学習する。授業の中では数学的活動を通して、それぞれの分野の知識及び技能、思考力、判断力、表現力等を身に付け、その有用性が認識できることを目指す。また、それぞれの内容についての概念や原理・法則を体系的に理解することを重視する。そのために、新しく学習する内容を一方的に提示するのではなく、既習の知識と関連付けた授業を展開する。			
評価	ペーパーテスト レポート			
履修上の注意				

教科名	科目名	講座名	単位数	講座番号
数学	数学C	数学C	2	604061
履修区分	履修年次	コース・履修条件		
選択	6	Liberal Arts・STEM・4年次に「数学Ⅰ」の履修が必要		
準備するもの（使用する教科書・副教材等）				
NEXT数学C(数研出版) 新課程 チャート式 解法と演習 数学C(数研出版)				
目標	代数・幾何・解析・統計に関わる学習において、数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を育成することを目指す。			
学習内容	代数・幾何・解析・統計に関わる分野について総合的に学習する。授業の中では数学的活動を通して、それぞれの分野の知識及び技能、思考力、判断力、表現力等を身に付け、その有用性が認識できることを目指す。また、それぞれの内容についての概念や原理・法則を体系的に理解することを重視する。そのために、新しく学習する内容を一方的に提示するのではなく、既習の知識と関連付けた授業を展開する。			
評価	ペーパーテスト レポート			
履修上の注意				

教科名	科目名	講座名	単位数	講座番号
数学	数学探究	数学探究	2	604081
履修区分	履修年次	コース・履修条件		
選択	6	Liberal Arts		
準備するもの（使用する教科書・副教材等）				
<small>NEXT数学Ⅰ(数研出版) NEXT数学A(数研出版) NEXT数学Ⅱ(数研出版) NEXT数学B(数研出版) NEXT数学C(数研出版) 新課程 チャート式 解法と演習 数学Ⅰ+A(数研出版) 新課程 チャート式 解法と演習 数学Ⅱ+B(数研出版) 新課程 チャート式 解法と演習 数学C(数研出版)</small>				
目標	<p>数学的な見方・考え方を働かせながら、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりしながら、自らが設定した課題を解決する活動を通して、数学的に考える資質・能力を育成することを目指す。</p>			
学習内容	<p>数学ⅠAⅡBで身に付けてきた知識及び技能、思考力・判断力・表現力、数学的な見方・考え方をを用いて、自らが設定した課題を数学的に解決し、そのプロセスや成果をレポート等にまとめる。</p>			
評価	ペーパーテスト レポート			
履修上の注意				

教科名	科目名	講座名	単位数	講座番号
数学	Mathematics AI	Mathematics AI SL (2)	3	604071
履修区分	履修年次	コース・履修条件		
選択	6	Global・5年次に「Mathematics AI SL (1)」の履修が必要		
準備するもの (使用する教科書・副教材等)				
Kognity Math AI SL, FX-CG50-N(CASIO電卓)				
目標	①既知と未知の幅広い文脈において、数学的事実、概念、技法に関する自分の知識を思い出し、選択して、使用する。 ②抽象的な文脈と現実文脈の両方において問題を解決するために、数学的なスキル、結果、モデルに関する自分の知識を思い出し、選択して、使用する。 ③一般的な現実の文脈を数学に置き換える／文脈に対し意見を述べる／紙とペンまたはテクノロジーを使って数学的な図、グラフ、図形を作成する／標準的な表記法を使って方法と解答と結論を記録する／適切な表記法と用語を使用する。 ④新しいアイデアを探究したり問題を解決したりするために、テクノロジーを正確、適切、かつ効率的に使用する。 ⑤正確な命題、論理的な演繹と推論、および数式の操作を用いて、数学的な議論を構築する。 ⑥抽象的な文脈と現実の文脈の両方における未知の状況を調査し、情報の整理と分析を行い、推測し、結論を導き、その妥当性を検証する。			
学習内容	Mathematics Applications and Interpretation (数学：応用と解釈)は、実社会を説明するため、また実社会の問題を解決するために数学の学力を高め、応用します。テクノロジーの力を活用し、かつ数学モデルを探究することを目的としています。Mathematics Applications and Interpretationでは、数学がどのように実社会で応用されているかについて探究し、知識としての数学の性質について数学者の歩みをたどりながら深く探究を行っていきます。			
評価	ペーパーテスト レポート			
履修上の注意	この講座は指導と提出物・総括的評価課題を英語で行う。			

教科名	科目名	講座名	単位数	講座番号
数学	Mathematics AI	Mathematics AI HL (2)	5	604072
履修区分	履修年次	コース・履修条件		
選択	6	Global・5年次に「Mathematics AI HL (1)」の履修が必要		
準備するもの (使用する教科書・副教材等)				
Kognity Math AI HL, FX-CG50-N(CASIO電卓)				
目標	①既知と未知の幅広い文脈において、数学的事実、概念、技法に関する自分の知識を思い出し、選択して、使用する。 ②抽象的な文脈と現実文脈の両方において問題を解決するために、数学的なスキル、結果、モデルに関する自分の知識を思い出し、選択して、使用する。 ③一般的な現実の文脈を数学に置き換える／文脈に対し意見を述べる／紙とペンまたはテクノロジーを使って数学的な図、グラフ、図形を作成する／標準的な表記法を使って方法と解答と結論を記録する／適切な表記法と用語を使用する。 ④新しいアイデアを探究したり問題を解決したりするために、テクノロジーを正確、適切、かつ効率的に使用する。 ⑤正確な命題、論理的な演繹と推論、および数式の操作を用いて、数学的な議論を構築する。 ⑥抽象的な文脈と現実の文脈の両方における未知の状況を調査し、情報の整理と分析を行い、推測し、結論を導き、その妥当性を検証する。			
学習内容	Mathematics Applications and Interpretation (数学：応用と解釈)は、実社会を説明するため、また実社会の問題を解決するために数学の学力を高め、応用します。テクノロジーの力を活用し、かつ数学モデルを探究することを目的としています。Mathematics Applications and Interpretationでは、数学がどのように実社会で応用されているかについて探究し、知識としての数学の性質について数学者の歩みをたどりながら深く探究を行っていきます。			
評価	ペーパーテスト レポート			
履修上の注意	この講座は指導と提出物・総括的評価課題を英語で行う。			

教科名	科目名	講座名	単位数	講座番号
理科	物理	物理	6	605031
履修区分	履修年次	コース・履修条件		
選択	6	LA・STEM・5年次に「物理基礎」の履修が必要		
準備するもの（使用する教科書・副教材等）				
物理（数研出版） 改訂版フォトサイエンス物理図録（数研出版） セミナー物理基礎+物理（第一学習社）				
目標	物理的な事物・現象について、質的・量的な関係や時間的・空間的な関係を比較・関係づけしながら、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、科学的に探究するために必要な資質・能力を育成することを目指す。			
学習内容	理科の見方・考え方を働かせ、観察、実験および探究活動を通して、「(1)様々な運動」、「(2)波」、「(3)電気と磁気」、「(4)原子」について日常生活と関連しながら理解するとともに、それらを学習する上に関連する技能を身につけさせ、思考力、判断力、表現力等を話し合いやレポート、発表を適宜行いながら学習する。			
評価	ペーパーテスト 実験レポート パフォーマンステストなど			
履修上の注意	6年次に6単位の履修が必要であり、「理科探究」は選択できない。			

教科名	科目名	講座名	単位数	講座番号
理科	化学	化学（2）	4	605051
履修区分	履修年次	コース・履修条件		
選択	6	Liberal Arts・STEM・4年次に「化学基礎」の履修が必要		
準備するもの（使用する教科書・副教材等）				
化学（1）で使用した教材				
目標	化学的な事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、化学的な事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1)化学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。 (2)観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 (3)化学的な事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。			
学習内容	6年次の「化学II」では、理科の見方・考え方を働かせ、観察、実験および探究活動を通して、「(3)無機物質の性質」、「(4)有機化合物の性質」、「(5)化学が果たす役割」について理解するとともに、それらを学習する上に関連する技能を身につけさせ、思考力、判断力、表現力等を話し合いやレポート、発表を適宜行いながら学習する。			
評価	ペーパーテスト 実験レポートなど			
履修上の注意	5年次の「化学（1）」の学習をもとに、学習内容を扱うため、5年次で「化学（1）」を履修していることが望ましい。			

教科名	科目名	講座名	単位数	講座番号
理科	生物	生物（２）	4	605071
履修区分	履修年次	コース・履修条件		
選択	6	Liberal Arts・STEM・4年次に「生物基礎」の履修が必要		
準備するもの（使用する教科書・副教材等）				
高等学校 生物（第一学習社） 生物図表（第一学習社） セミナー生物基礎+生物（第一学習社）				
目標	<p>生物や生物現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、生物や生物現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1)生物学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2)観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。</p> <p>(3)生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。</p>			
学習内容	理科の見方・考え方を働かせ、観察、実験および探究活動を通して、「（３）遺伝情報の			
評価	ペーパーテスト 実験レポートなど			
履修上の注意	5年次の「生物（１）」の学習をもとに、学習内容を扱うため、5年次で「生物（１）」を履修していることが望ましい。			

教科名	科目名	講座名	単位数	講座番号
理科	Chemistry SL	Chemistry SL（２）	3	605101
履修区分	履修年次	コース・履修条件		
選択	6	Global・5年次に「Chemistry SL（１）」の履修が必要		
準備するもの（使用する教科書・副教材等）				
<p style="text-align: center;">kognity IB DP chemistry SL/HL 化学基礎（第一学習社） 化学（第一学習社）</p>				
目標	<p>国際的な視野をもつ人間の育成を目指す。人類に共通する人間らしさと地球を共に守る責任を認識し、より良い、より平和な世界を築くことに貢献する人材を育成する。また、化学では以下の項目に焦点を当てながら、化学の必要性に迫る。</p> <p>1.化学とは何か・化学的試みとは何か 2.科学の理解 3.科学の客観性 4.科学の人間的な側面 5.科学的リテラシーと科学に対する一般の人々の理解</p>			
学習内容	1~4年次で身に着けた「科学」や「化学基礎」の知識を活用し、人間生活をより良くするた			
評価	ペーパーテスト 実験レポート パフォーマンステストなど			
履修上の注意				

教科名	科目名	講座名	単位数	講座番号
理科	Chemistry HL	Chemistry HL (2)	5	605102
履修区分	履修年次	コース・履修条件		
選択	6	Global・5年次に「Chemistry HL (1)」の履修が必要		
準備するもの（使用する教科書・副教材等）				
kognity IB DP chemistry SL/HL 化学基礎（第一学習社） 化学（第一学習社）				
目標	国際的な視野をもつ人間の育成を目指す。人類に共通する人間らしさと地球を共に守る責任を認識し、より良い、より平和な世界を築くことに貢献する人材を育成する。また、化学では以下の項目に焦点を当てながら、化学の必要性に迫る。 1.化学とは何か・化学的試みとは何か 2.科学の理解 3.科学の客観性 4.科学の人間的な側面 5.科学的リテラシーと科学に対する一般の人々の理解			
学習内容	1~4年次で身に着けた「科学」や「化学基礎」の知識を活用し、人間生活をより良くするた			
評価	ペーパーテスト 実験レポート パフォーマンステストなど			
履修上の注意				

教科名	科目名	講座名	単位数	講座番号
理科	理科探究	理科探究	2	605121
履修区分	履修年次	コース・履修条件		
選択	6	Liberal Arts・STEM		
準備するもの（使用する教科書・副教材等）				
物理基礎・化学基礎・生物基礎・地学基礎・化学・生物で使用した教科書と副教材				
目標	科目横断的に考える必要のある課題を自ら設定して探究する活動を通して、自然の事物・現象を深く理解し、科学的に探究するために必要な資質・能力を育成することを目指す。			
学習内容	探究の材料となる資料（各種データ、論文、大学入試問題等）を自らリサーチし、課			
評価	レポートなど			
履修上の注意	6年次「物理」は選択できない。			

教科名	科目名	講座名	単位数	講座番号
保健体育	体育	体育（3）	3	611011
履修区分	履修年次	コース・履修条件		
必履修	6			
準備するもの（使用する教科書・副教材等）				
現代高等保健体育（大修館）ステップアップ中学体育（大修館）				
目標	<p>体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を育成することを目指す。</p>			
学習内容	<p>運動に関する領域には陸上競技や球技など、知識に関する領域には体育理論があり、各領域に応じて「技術や攻防の行い方」、「体力の高め方」、「課題解決の方法」、「練習や発表の仕方」などを学習する。また、各領域で学んだ知識・技能・思考力を他の領域や他教科、日常生活に転移する方法についても探究する。</p>			
評価	パフォーマンステスト・ペーパーテスト、レポートなど			
履修上の注意				

教科名	科目名	講座名	単位数	講座番号
IB	Visual Arts	Visual Arts (2)	3	609131
履修区分	履修年次	コース・履修条件		
選択	6	Global・5年次に「Arts SL (1)」の履修が必要		
準備するもの（使用する教科書・副教材等）				
特になし				
目標	生徒が自らの創造的かつ文化的な可能性と限界に挑戦することを奨励する。これは思考を刺激するコースで、生徒は技法の習熟を目指し芸術作品の制作者としての自信をつけると同時に、問題解決と独創的思考における分析的なスキルを育む。			
学習内容	作品の比較研究、メディア探究、調査、振り返り、および制作活動を通じて、生徒は自身を取り囲む世界の表現および美学の多様性に対する理解を深める。また、視覚文化の制作者および消費者として批判的な知識を習得する。			
評価	制作プロセスの記録・作品・発表・レポート・比較研究課題			
履修上の注意	授業内の活動と提出課題の言語は全て英語。			

教科名	科目名	講座名	単位数	講座番号
IB	Film SL	Film SL (2)	3	609132
履修区分	履修年次	コース・履修条件		
選択	6	Global・5年次に「Film SL (1)」の履修が必要		
準備するもの（使用する教科書・副教材等）				
特になし				
目標	生徒が映画制作と理論を学びながら、自らの創造的かつ文化的な可能性を広げることを奨励する。技術の習熟を目指し、問題解決や独創的思考における分析的スキルを育むとともに、芸術作品の制作者としての自信を深める。視覚文化を批判的に探究し、映画を通じて社会や文化の理解を深める。			
学習内容	映画制作技術（撮影、編集、音響、演出など）の習得に加え、映画史や映画理論を学ぶ。また、映画が社会、政治、文化に与える影響についての理解を深め、映画を通じて問題解決能力や創造的思考を養う。独立してまたは協力して映画制作に取り組み、視覚文化に対する批判的な視点を養う。			
評価	テキスト分析・作品制作・レポート・比較分析課題			
履修上の注意	授業内の活動と提出課題の言語は全て英語。			

教科名	科目名	講座名	単位数	講座番号
外国語（英語）	英語コミュニケーションⅢ	英語コミュニケーションⅢ	4	613031
履修区分	履修年次	コース・履修条件		
選択	6	Liberal Arts・STEM・5年次に「英語コミュニケーションⅡ」の履修が必要		
準備するもの（使用する教科書・副教材等）				
Element English Communication III（啓林館）				
目標	英語学習の特質を踏まえ、聞くこと、読むこと、話すこと〔やりとり〕、話すこと〔発表〕、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、(1)目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能及び、(2)コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を一体的に育成するとともに、その過程を通して、(3)外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。			
学習内容	日常的な話題で、社会的な話題で対話、スピーチ、説明、討論の聞き取り、新聞、広告、論説文、報告文の読み取り、情報や気持ちのやり取り、討論などの意見のやり取り、プレゼンテーションやスピーチなどの発表、エッセイ、手紙、提案書などを書くことなどの諸活動を通して、以下の3つの項目を学習する：(1)英語の特徴や決まりに関する事項(2)情報を整理しながら考えなどを形成し、英語で表現したり、伝え合ったりすることに関する事項(3)言語活動及び言語の働きに関する事項を学習します。			
評価	パフォーマンステスト・ペーパーテスト			
履修上の注意				

教科名	科目名	講座名	単位数	講座番号
外国語（英語）	論理・表現Ⅲ	論理・表現Ⅲ	2	613061
履修区分	履修年次	コース・履修条件		
選択	6	Liberal Arts・STEM・5年次に「論理・表現Ⅱ」の履修が必要		
準備するもの（使用する教科書・副教材等）				
Crown Logic and Expression III（三省堂）				
目標	英語教育の特質を踏まえ、領域別に設定する目標の実現を目指した指導を通して、話すこと（やり取り・発表）についての資質・能力を一体的に育成するとともに、その過程を通して書くことについての資質・能力を育成する。			
学習内容	日常的な話題や社会的な話題について、情報や考えを伝え合ったり、解決策を提案し合ったり、主張を伝え合ったりするディベートやディスカッションを行う。また、スピーチやプレゼンテーション、質疑応答、意見や感想を伝え合う活動を行う。さらに、日常的な話題について、情報や考えなどを適切な理由や根拠とともに複数の段落を用いて詳しく書いて伝える活動を行う。			
評価	パフォーマンステスト・ペーパーテスト			
履修上の注意				

教科名	科目名	講座名	単位数	講座番号
外国語（英語）	英語探究	英語探究（2）	2	613071
履修区分	履修年次	コース・履修条件		
選択	6	Liberal Arts		
準備するもの（使用する教科書・副教材等）				
各自のプロジェクトに必要なとするもの				
目標	<p>言語能力及び言語の習得における見方・考え方を働かせ、語学力を発展するための探究学習を、4技能・5区域を統合的に学習を行うことを通して、自己のアイデンティティや英語における到達度を考えながら、よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解するようにする。</p> <p>(2) 実社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、計画を立てて課題解決のために行動することができるようにする。</p>			
学習内容	<p>英語の習得における課題を設定し、主体的に計画したり、行動したり、振り返ったりして、英語の取得の成果を上げる探究的なプロジェクトを繰り返す。このコースでは、言語の習得、英語（運用能力、文学、メタ言語的理解を含む）、英語実践のパフォーマンスについての理解を深めるために、個人やグループで発展的なプロジェクトを行います。</p>			
評価	プロジェクトのレポート、成果物・パフォーマンスの発表			
履修上の注意	MOISの英語学習より発展的に学習し、英語の上達を目指す生徒におすすめします。または、英語を母国語として学習することもプロジェクトとして考えられます。			

教科名	科目名	講座名	単位数	講座番号
外国語（英語）	Language B	Language B HL（2）	5	613081
履修区分	履修年次	コース・履修条件		
選択	6	Global・5年次に「Language B HL（1）」の履修が必要		
準備するもの（使用する教科書・副教材等）				
Oxford English B Course Companion				
目標	<p>1さまざまな文脈で、さまざまな目的のために、明確かつ効果的にコミュニケーションをとることができる。</p> <p>2様々な対人・異文化の文脈や聴衆に適した言語を理解し、使用することができる。</p> <p>3様々なアイデアを表現するための言語を理解し、流暢かつ正確に使用することができる。</p> <p>4様々なトピックについてアイデアを識別し、整理し、発表することができる。</p> <p>5様々な文章、音声、映像、オーディオ・ビジュアルを理解し、分析し、考察することができる。</p>			
学習内容	<p>Language Bコースでは、言語、テーマ、テキストの学習を通じて、英語でのコミュニケーション能力を身につけます。その中で、言語がどのように機能するかについての概念的な理解も深めていきます。コミュニケーションは、さまざまな文脈や目的において、受容的、生産的、そして対話的なスキルによって証明されます。</p> <p>言語の研究では、言語の形態、構造、機能、そして概念的な理解に注意を払う必要があります。ポキャブラリーと文法の知識（言語の「何」）は、言語の「なぜ」と「どのように」（聴衆、文脈、目的、意味）を理解することで強化され、拡張されます。</p>			
評価	ペーパーテスト、パフォーマンステストなど			
履修上の注意				

教科名	科目名	講座名	単位数	講座番号
特別活動	LHR	LHR (3)	1	615011
履修区分	履修年次	コース・履修条件		
必履修	6			
準備するもの（使用する教科書・副教材等）				
目標	<p>集団や社会の形成者としての見方・考え方を働かせ、様々な集団活動に自主的、実践的に取り組み、互いのよさや可能性を發揮しながら集団や自己の生活上の課題を解決することを通して、次のとおり資質・能力を育成することを目指す。</p>			
学習内容	<p>(1) ホームルームや学校における生活づくりへ参画し、所属するコミュニティ内の組織づくりや役割を自覚しながら仕事を分担して、協働し合い実践する、学校における様々な集団生活を向上する。</p> <p>(2) 日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全を向上し維持する。</p> <p>(3) 学校生活と社会的・職業的自立の意義を理解し、主体的な学習態度の確立と学校のリソースの活用を通して、社会参画意識の醸成や勤労観・職業観の形成と主体的な進路の選択決定と将来設計をすること。</p>			
評価	各活動の観察や自己評価・振り返りをもとに記述式評価			
履修上の注意				

教科名	科目名	講座名	単位数	講座番号
DP探究	DP探究	DP探究（2）	2	614061
履修区分	履修年次	コース・履修条件		
選択	6	Global		
準備するもの（使用する教科書・副教材等）				
なし				
目標	DPの各科目及びCASやEEについて幅広く取り扱い、探究的な活動を通して、それぞれの分野の知識及び技能、思考力、判断力、表現力等を身に付け、その学びを深める			
学習内容	DPの各科目について、総合的に学習する。授業の中では、各科目の他に、CASやEEについても幅広く取り扱い、探究的な活動を通して、それぞれの分野の知識及び技能、思考力、判断力、表現力等を身に付け、その学びを深める。			
評価	なし			
履修上の注意				

教科名	科目名	講座名	単位数	講座番号
LDT	LDT	LDT (3)	2	614041
履修区分	履修年次	コース・履修条件		
選択	6	Liberal Arts・STEM		
準備するもの（使用する教科書・副教材等）				
目標	自由でかつ制限のない(open-ended)時間の中で、学習者が中心となり探究活動を行うことで、やり抜く力・成長し続ける力・世界に視野を広げる力を育成する。この時間を通して、IBで示されている10の学習者像の資質を育成していく。			
学習内容	<ul style="list-style-type: none"> ①学校生活に関わる学習活動全般において、計画・振り返りを行いながら、学習・探究活動に取り組む ②ワークショップへの参加や企画、プレゼンテーションなどを行う ③3Gプロジェクトに取り組む ④学校外でフィールドワークを行う 			
評価				
履修上の注意				

教科名	科目名	講座名	単位数	講座番号
総合的な探究の時間	3 G Project	3 G Project (3)	2	614011
履修区分	履修年次	コース・履修条件		
必履修	6	Liberal Arts・STEM		
準備するもの（使用する教科書・副教材等）				
目標	探究の見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、自己の在り方生き方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していくために必要な課題発見・課題解決、情報収集とそれらの整理・分析、まとめ・表現等のための知識及び技能と、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度等の資質・能力を育成することを目指す。			
学習内容	3 G Project Iの内容を踏まえて、3 G Project IIの探究プロジェクトを完成し、学校内外に発表・発信する。			
評価	レポート プレゼンテーション			
履修上の注意				

教科名	科目名	講座名	単位数	講座番号
総合的な探究の時間	TOK	TOK (2)	2	614031
履修区分	履修年次	コース・履修条件		
必履修	6	Global		
準備するもの（使用する教科書・副教材等）				
目標	知識の探究を通じて自身の知識に対する見方を振り返り、他者との議論を通じて異なる信念、価値観、経験を含む様々な答えに接することで、心を開く姿勢を養う。また、知識を「素材」として扱いながら実社会・世界で起きている問題や取り組みについて触れることで国際的な視野を育む。			
学習内容	TOKでは、「私たちはどのようにしてそれを知るのか」という中心的な問いから他者との議論を通して、知識の性質、範囲、限界、そして発展や変化について探究する。また、学問領域の境界線を越えて、複数の学問分野から知識について問う。			
評価	プレゼンテーション エッセイ			
履修上の注意				

教科名	科目名	講座名	単位数	講座番号
ROK	ROK	ROK (2)	1	614021
履修区分	履修年次	コース・履修条件		
選択	6	Liberal Arts・STEM		
準備するもの（使用する教科書・副教材等）				
目標	知識の探究を通じて自身の知識に対する見方を振り返り、他者との議論を通じて異なる信念、価値観、経験を含む様々な答えに接することで、心を開く姿勢を養う。また、知識を「素材」として扱いながら実社会・世界で起きている問題や取り組みについて触れることで国際的な視野を育む。			
学習内容	IB World Schoolの学習者として、「私たちはどのようにして物事を知るのか」という中心的な問から他者との議論を通じて、知識の性質、敗因、限界、そして発展や変化について探究する。また、学問領域の境界線をこえて、複数の学問分野について問う。			
評価	ROKエッセイ、ROKプロセスジャーナル			
履修上の注意				